



平成 26 年 10 月 28 日

各 位

本社所在地 東京都港区赤坂八丁目 4 番 14 号  
 会 社 名 ブロードメディア株式会社  
 (コード番号: 4347)  
 代 表 者 代表取締役社長 橋 本 太 郎  
 問 合 せ 先 取 締 役 植 村 保 彦  
 管 理 本 部 長  
 電 話 番 号 03-6439-3725

業績予想の修正ならびに  
 営業外費用（持分法による投資損失）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 4 月 25 日に公表した平成 27 年 3 月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）において、持分法による投資損失を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	13,000	△400	—	—	—
今回修正予想(B)	12,000	△660	—	—	—
増減額 (B-A)	△1,000	△260	—	—	—
増減率 (%)	△7.7%	—	—	—	—
( 参 考 ) 前 期 実 績 ( 平 成 26 年 3 月 期 )	12,301	△618	△1,134	△777	△11.93

2. 修正の理由

<売上高>及び<営業利益>

「放送」セグメントは、制作売上が好調であることに加え、視聴料収入も堅調に推移しております。一方で、「コンテンツ」セグメントにおけるクラウドゲーム事業では、期初の想定よりサービスの拡大が遅れており、第 3 四半期以降も緩やかな伸びとなることを見込んでおります。また、教育サービスでは、平成 26 年 4 月に開校した「ルネサンス大阪高等学校」の生徒獲得数が当初の予想を下回って推移しております。「スタジオ」セグメントにおいては、第 3 四半期以降は売上高の増加と利益計上を見込んでおりますが、映画興行成績及びビデオ販売の不調や、制作受注の後ろ倒し等によって、第 2 四半期連結累計期間が期初見通しを下回った影響が大き

く、通期で損失を計上する見込みとなりました。

これらの理由により、売上高は前回発表を下回り、営業損失が拡大する見通しとなりましたので、業績予想を下方修正いたします。

<経常利益>及び<当期純利益>

前回発表時と同様に、G クラスタ・グローバル株式会社及び湖南快樂垂釣發展有限公司等における業績見込みの不確実性が高く、その業績が反映される経常利益及び当期純利益は予想が困難なため、引き続き開示を控えさせていただきます。

【参考】

通期連結業績予想のセグメント別内訳は以下の通りです。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B)－(A)	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B)－(A)
合計	13,000	12,000	△1,000	△400	△660	△260
コンテンツ	3,150	2,200	△950	△445	△700	△255
放送	4,150	4,500	350	165	300	135
スタジオ	3,000	2,700	△300	65	△75	△140
技術	1,450	1,400	△50	△25	30	55
ネットワーク営業	1,250	1,200	△50	△160	△215	△55

※ 上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。特に、クラウドゲーム事業の状況によって大きく変動する可能性があります。

3. 持分法による投資損失の計上について

平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において、持分法適用関連会社である、G クラスタ・グローバル株式会社及び湖南快樂垂釣發展有限公司等が四半期純損失を計上したことから、当社の持分に応じた 231 百万円を持分法による投資損失として計上いたしました。

以 上

〈本件に関するお問い合わせ先〉ブロードメディア株式会社 IR 担当 TEL. 03-6439-3983